

# 松阪市子ども支援研究センターだより

松阪市子ども支援研究センター 〈TEL. 26-1900 FAX. 26-1901〉

E-mail: [kyo.div@city.matsusaka.mie.jp](mailto:kyo.div@city.matsusaka.mie.jp) <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室」「三雲やまゆり教室」

〈TEL 26-1900 FAX 26-1901〉 E-mail: [suzunomori@matsusaka.ed.jp](mailto:suzunomori@matsusaka.ed.jp)

## 「密」

昨年末に、2020年の世相を表す漢字として発表された「密」。新型コロナウイルス感染症防止策として『3密（密閉・密集・密接）』を避けることが発信され、多くの人が「密」を意識しながら行動するようになりました。密を避けフィジカルディスタンス（ソーシャルディスタンス）をとるようと言われ、人との距離をとることに意識を向けるようになりました。そうすると不思議なもので、何となく気持ちまで少し距離ができてしまったようでしたが、ここから人間のすごさだなと思いました。人とつながりたいと思う気持ちからオンライン飲み会が広まり、「便りが無いのは良い便り」のごとく連絡もあまりしなかった家族などにメールや手紙を書いて、『3密』を避けつつ人とつながる行動が見られるようになりました。このような状況を見て、物理的なつながりでの気持ちが、心理的なつながりによってより深く感じられたのではないのでしょうか。これを機に日常というものを違った視点で見ていくことで新しい日常を作ってみませんか。

さて、1年を表す漢字についてもう一つ「目」という字を上げてみたいと思います。今年はどうな1年にしていこうと考え浮かんだ1字です。

『目（瞳）』 まだまだコロナ感染予防のためマスクが外せそうにないようです。そこで、顔の中で見えるのは目だけですが、「目は口ほどのものをいう」という諺があるように、ノンバーバル・コミュニケーションは、言葉や文字よりその人の印象が伝わるといわれています。この機会にしっかり目を見て話しをしてみませんか。

## 「目」

『目標』 今までの日常が変わってきている現在は、目的を達成するために設ける目標が、今までのようにはいかないかもかもしれません。だから、今年は今までに考えたことのないような新たな目標を立ててみるのもいいですね。

まだまだコロナの感染は予断を許さない状況です。早く以前のように安心して過ごせる日常が来てほしいですが、待っているばかりではなく、今を見据えて（目だけに）新しい日常を作りたいと思います。

### 研修講座報告 「フィールドワーク～郷土偉人ゆかりの地を訪ねる」

講師：【松阪市文化財センター】 村田 匡先生 小掠 光裕先生

本年度も、松阪市で初任として採用された先生方を対象に、松阪市主催の教職員研修講座と連携して第14回初任研「フィールドワーク」を行いました。

約3時間かけて、歴史はにわ館、宝塚古墳出土埴輪、本居宣長旧宅跡、旧長谷川邸、本居宣長記念館、松坂城跡等を巡り各場所で講師より説明を受けました。

松阪市の豊かな文化遺産や優れた先人について学び、伝統や文化について理解を深めることにより、地域の文化や歴史を活用した体験的な学習や教材の開発等を進めるための一助とし、ふるさと松阪に学ぶ教育を推進していただきたいと思います。

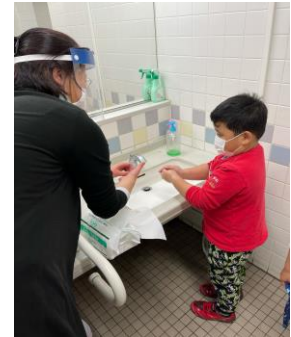


## 外国人幼児のための就学前支援教室「ふたば」

1月9日（土）より、来年度市内小学校に入学予定の外国人幼児を対象とした「ふたば」が始まりました。3月20日（土）まで毎週土曜日、子ども支援研究センター2階「いっぽ」教室で開催しています。今年度は、フィリピン、インドネシアにルーツのある子どもたち20人が参加しています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、検温、マスク着用、手指消毒を徹底し、3密を避ける対策を行いながら一部カリキュラムを変更して指導しています。

「ふたば」では、外国の子どもたちが小学校生活をスムーズにスタートできるように、小学校で使う基本的な日常会話、ひらがな・数字の読み書きを学習します。体験活動や遊びも取り入れ、楽しみながら学校生活について学ぶことができるよう学習内容を工夫しています。第1回は、学校に持ってきてよい物、持ってきてはいけない物を〇×ゲームを通して学びました。本物を見せることで、身近な生活とつなげて理解できていました。その後、新型コロナウイルス感染防止対策として正しい手洗いの仕方を学びました。指先や、手首など、細かいところまで丁寧に洗う姿がみられました。最後に鉛筆で線を描く練習をしました。見本の線からはみださないように集中して取り組み、先生から褒められるととても嬉しそうでした。

ふたばで学ぶことで、やる気や自信を育て、楽しい学校生活を送ることができるよう支援していきたいと思います。



### 教育関係書籍貸し出し中！ぜひご活用ください！

教育関係書籍、随時追加しております。お近くにお越しの際に、当センターの事務所にお立ち寄りいただき、ぜひご活用ください。一部をご紹介します。

書名	著者
必須化！小学校のプログラミング学習	磯部 征尊
プログラミング教育の考え方とすぐに使える教材集	赤堀 侃司
学校アップデート	堀田龍也・為田裕行・稲垣忠他
情報社会を支える教師になるための教育の方法と技術	堀田 龍也・佐藤 和紀
未来の授業 私たちのSDGs 探求 Book	佐藤 真久
Alvs 教科書が読めない子どもたち	新井 紀子
不登校の子どもに何が必要か	増田 健太郎
エンカウンターで不登校対応が変わる	國分 康孝・國分 久子
WHYとHOWでよくわかる！不登校困った時の対応術	千葉 孝司
今、子どもの不登校で悩んでいるあなたへ	上野 剛
学習力を育てる日本語指導	田中 薫
中学生のにほんご 学校生活編	志賀玲子・武一美・永田晶子他

☆ 松阪市子ども支援研究センターホームページの「蔵書案内」より検索できます。新着書籍、過去の書籍等は、ホームページに掲載しております。

☆ 貸出期間は原則2週間です。事務所にて貸し出し手続きができます。